

## 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	61人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	バスケットボールユニフォーム
使用学年及び人数	バスケットボール部(男子) 1～3年生 ※令和6年度は14人
使用頻度	大会が開催される度に使用
使用状況	<p>大会前に、ユニフォームのサイズ確認、番号確認を行ってから、大会当日に着用して試合に参加した。</p> <p>バスケットボールの試合は、組み合わせによってチームごとのユニフォームの色(濃淡)に指定がある。寄贈いただいたユニフォームはリバーシブル(濃淡)になっているため、試合の組み合わせを確認しながらユニフォームを淡色にしたり、濃色にしたりして、その都度、着替えながら試合に臨むことができた。</p> <p>試合後は、各家庭で洗濯し、畳んでから生徒自身が学校に返却し、保管している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>バスケットボールはチームスポーツであり、チーム内で同じデザインのユニフォームを着用し、試合に参加することでチームとしての連帯感が高まり、生徒自身の意欲にも繋がった。団体競技のチームの仲間ということをお互いに意識しながら試合に臨む生徒が多くいた。</p> <p>また、チーム内で励まし合ったり、喜び合ったりする姿も多く見られ、連帯感の高まりが感じられた。</p> <p>試合後は、各家庭に持ち帰り、洗濯してから学校へ返却し、大切に使用している。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>従来は学校のビブスを着用して大会に参加していたが、ユニフォームがあることで生徒達が自信をもち、意欲的に試合に臨む姿が多く見られた。今後も継続して大会等で使用する予定である。</p> <p>また、自分で管理する(家で洗濯する、綺麗に畳んでから返却等)については、物を大切に扱う意識が見られている。</p>
その他希望や所感など	<p>生徒達一人一人がユニフォームを着用し、意欲的に大会に参加している姿が多く見られた。生徒、職員共に、寄贈していただき、大変感謝している。</p>

## 2. 活用の様子



←試合前の整列している様子です。  
(青のユニフォームが南の丘分校)

試合中の様子です。→  
(青のユニフォームが南の丘分校)



←生徒と教師がベンチで試合の  
作戦を共有している様子です。